

2006 年度冬学期 教育臨床心理学(担当:前田)期末試験問題

受験上の注意

1. 教科書、授業中の配布資料、ノート、携帯電話、電子辞書の持込みは一切不可とする。
2. 解答用紙の表裏両面を用いても足りない場合は、手を挙げてもう1枚要求すること。解答用紙が2枚になったときには、2枚ともに学年、氏名等、必要事項をすべて記入し、解答用紙の右上に「1枚目」「2枚目」と大きく明記すること。
3. 試験時間は90分である。
4. 解答する順は問題順でなくてもかまわないが、どの問題の解答かわかるように、解答する際には問題の番号を明記すること。

【問題1】(1)解離とはどのようなものか説明せよ。(2)解離がみられる心理的メカニズムについて防衛機能の心理と関連させて述べよ。なお、解答には防衛機能の具体的・日常的な例を必ず含むこと。

【問題2】最近急増しているという乳児虐待の問題点について、次の[]内の語句をすべて用いて説明せよ。なお、[]内の語句を用いた箇所には、==線でアンダーラインを引いて示すこと。

[内的ワーキング・モデル, 生理的早産, アタッチメント, 就巢性と離巢性, 愛着行動]

【問題3】摂食障害患者が異常なまでにやせようとする心理について、資本主義の発達という歴史的・社会的背景と関連させて説明せよ。

【問題4】小学校6年生のタロウ君は他者に過剰に依存的な性格で、爪を噛む癖があることを両親は心配している。このことについて、(1)まず精神分析理論では歪んだ

性格はどのようにして形成されるかについて論述し、(2)タロウ君の「過剰に依存的な性格」「爪を噛む癖」はいかにして形成されたと推測されるか説明せよ。

【問題5】文部科学省も『生徒指導の手引』では、生徒指導の目標の1つに「個性の伸長」があげられている。ここでいう「個性の伸長」とは発達可能性の実現、すなわち自己に備わった資質や才能を引き出すことである。この「個性の伸長」が個々の社会的適応、精神的健康に重要であることを自己評価維持理論の観点から論述せよ。